

登録No. U-025
 登録名 Nivolumab療法
 催吐性リスク 最小度
 適応疾患 腎細胞癌
 投与スケジュール

	薬剤	投与量	最大投与量	投与日	投与経路	投与時間	備考
Rp.1	ニボルマブ 生食	①240mg/body ②480mg/body 100mL		d1	d.i.v.	30min	インラインフィルター (0.2又は0.22 μm)使用

1クールの間 ①2週間 ②4週間

その他（副作用・PS規定等）

注意が必要な副作用 間質性肺疾患、大腸炎・重度の下痢、免疫性血小板減少性紫斑病、甲状腺機能障害、腎障害
 脳炎、静脈血栓塞栓症、重症筋無力症、心筋炎、筋炎、横紋筋融解症
 1型糖尿病、肝機能障害、肝炎、硬化性胆管炎、神経障害、副腎障害、重度の皮膚障害、infusion reaction
 グレードにより再開、休止、中止規定あり
 注意点： 振盪により凝集体が認められることがある為、振盪しない
 希釈後の総量は60mL以上とし、最終濃度は0.35mg/mL以上とする
 開始基準： WBC \geq 2000/mm³、Neutr \geq 1500/mm³、Plt \geq 10万/mm³、Hb \geq 9.0g/dL
 AST/ALTが施設基準値上限の3.0倍以下
 T-Bilが施設基準値上限の1.5倍以下(ただしT-Bilが3.0mg/dL未満であるジルベール症候群患者を除く)
 SCrが施設基準値上限の1.5倍以下またはCCrが40mL/min以上
 空腹時血清グルコースが施設基準値上限の1.5倍以下
 空腹時血清コレステロールが300mg/dL以下または7.75mmol/L以下
 空腹時トリグリセリドが施設基準値上限の2.5倍以下